



主権
在客

ようざん通信 / 9月号

第102号 平成28年9月15日発行



高崎高等特別支援学校へ行ってきました



7月29日に、高崎高等特別支援学校で「認知症サポーター養成講座」を行いました。

「認知症サポーター」って？

なにか特別な事をやる人ではありません。まず、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることがスタートです。認知症を理解した認知症の人への「応援者」です。認知症は誰でもなる可能性のある病気です。いつ自分や家族が、あるいは友人や知り合いが認知症になるか分かりません。ですから、他人ごととして無関心であるのではなく、「自分たちの問題である」という認識を持つことも大切です。

当日は、生徒さんと先生、保護者の方を含め34名の方を対象に行いました。

相談の段階から「ぜひ劇をやってください」と要望があり、「朝ごはんを食べたことを忘れてしまうおじいさん」と「家が分からなくなってしまったおじいさん」の2つの劇を行いました。大変好評で後ろの席の方も前に移動し食い入るように見ていました。

養成講座終了後にアンケートを書いていたいただきました。

- ・認知症の人に自分が出来る事を考えます (15歳 女性)
- ・否定せずに話を聞く姿勢が大切だと分かった (17歳 女性)
- ・ぼくは認知症は難しいものだと思ってたけど、少しだけわかった。(16歳 男性)
- ・勇気を出して認知症の人に声をかけてみる (15歳 男性)
- ・高齢者の人の役に立ちたい (17歳 女性)
- ・今日聞いた内容をテキストと共に、家族にも伝えようと思いました。どうしても否定してしまう事が多いのでそこから改めていこうと思います。(49歳 女性)
- ・劇が楽しく分かりやすかった (15歳 男性)

今回の認知症サポーター養成講座で34名の認知症サポーターが誕生しました。今後の地域での活躍を願っています。また、この活動は地域での認知症支援に大変重要だと感じています。今後もキャラバンメイトとして養成講座を行い、一人でも多くのサポーターさんが地域で活躍できるよう継続していきたいと思っています。(小板橋)



八幡中学校へも行ってきました



8月24日、八幡中学校PTAセミナーの講師として、ようざんの職員6名が参加させていただきました。私たちは、「KYプロジェクトinようざん」というチームです。「KY」とは、「介護(K)やろうよ(Y)」の略です。決して「空気読めない」ではありません。八幡中学校の2年生と保護者の方、先生方、PTAの役員の方皆さんにご参加いただき、高齢者疑似体験やレクリエーション、職員による寸劇を通じて、「介護」や「認知症」について学びました。実際に車椅子で学校の中を移動してみたり、高齢者体験キットを身に付けて階段を上ってみると、「結構きつい!」「初めて車椅子に乗った」など、生徒さんからは様々な感想が聞かれました。また保護者の方からは、「うちのおばあちゃんが使っていた頃はもっとおむつがぶ厚かったです」など、新しい

介護用品に感心される方もいらっしゃいました。そして最後は、認知症を患った祖父とその家族の日常の場面をおもしろおかしく劇で演じ、「認知症の方との接し方10の原則」について紹介しました。「認知症の方の思いに寄り添ってみてほしい」「家族の方は一人で抱え込まないようにしてほしい」という私たちの思いを伝えました。限られた時間の中で必死に練習した劇に、皆さんから温かい拍手をいただけたことにとっても感動致しました。これからもようざんでは、介護のことについてたくさんの方に情報を発信していきたいと考えています。そして一人でも多くの地域の皆様のお力になれるとしたら、これほど嬉しいことはないと思っています。ご協力いただいた八幡中学校の皆さん、この度はお招きいただきまして本当にありがとうございました。(長谷川)

ゴーヤ通信



今年の5月に、上並榎第3町内会の山中区長さん、環境保健委員の米丸さん、上並榎第2町内会の市川前区長さんに作って頂いた、ゴーヤのグリーンカーテンが大豊作です!!7月からゴーヤの実が出来始めましたが8月30日までに340個も収穫でき

ました。毎日利用者様とスタッフで美味しくいただいています。あと1ヶ月くらいは、収穫を楽しめそうです。町内会のみなさんありがとうございました。

デイサービスぽから



蒸し暑い日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。この暑さにも負けず、ぽからは盛りだくさんのレクリエーションを行いました。琴の木村先生のやさしい音色や三味線の力強い音色に皆様喜んでいらっしゃいました。マジックショーでは、次々と起こる不思議な光景に皆様首をかしげながらも笑顔で拍手。「喫茶店風かき氷パフェ」ではテーブルセッティングもおしゃれにし、雰囲気を楽しみながら職員試行錯誤のパフェを召し上がっていただきました。職員のかわいらしいエプロン姿も喜んでいただきました。もちろんお味もグッドなのでとても好評でした。そしてそして8月の一押しイベントの「ぽから夏祭り」も大いに盛り上がりました。日頃お世話になっている地域の皆様をお招きして、歌ったり、踊ったり、ゲームをして夏祭りを満喫しました。まず、利用者様が持参の和服で美しく着飾り昔踊り込んだカセットテープの曲に合わせて華麗な舞を披露して下さいました。体が覚えていて自然に手足が動くそうです。職員の歌に合わせた和踊りに、輪投げや釣りでは皆様笑顔を浮かべつつも真剣に参加していらっしゃいました。景品をたくさん用意して皆様に持ち帰っていただきました。アツという間に終了の時間となり「もう、終わり?」「本当に楽しかったわ」と大変喜んでいただくことができました。地域の皆様も一緒に参加して下さい、大変賑やかな夏祭りとなりました。

今後も利用者様、職員、地域の方と楽しみながら様々な取り組みを行うべく職員一同チームワークで頑張ります。(北沢)

ナースステーションようざん

「インフルエンザの予防接種」が始まります。

予防接種とは、あらかじめその病原体からつくられた物質(ワクチン)を経皮的・経口的に体内に入れる(接種すること)で免疫(抵抗力)をつけておくこと、実際にその病原体と触れた場合に感染したり、重症化しないよう、予防することをさします。ただし、予防接種の効果は完全ではありません。

ワクチンはその性質により、生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイド(不活化に含めることもあり)に分けられます。

生ワクチンとは病原性を弱めたウイルスや細菌を用いたもの、不活化ワクチンとは、ウイルスや細菌を集めて精製したあと加熱や薬剤処理によって病原体の活力を失わせたもの、トキソイドとは、病原体が増殖する過程で産生される毒素(トキシン)を処理し無毒化したものです。接種後に獲得される免疫は、生ワクチンではほかと比較し強固です。

日本で使われているのは、

(1)生ワクチン ポリオ、BCG、麻疹風疹(混合含む)、おたふく

かぜ、水痘

(2)不活化ワクチン(トキソイド含む) 百日咳ジフテリア破傷風(混合)、ジフテリア破傷風(混合)、日本脳炎、インフルエンザ、A型およびB型肝炎、破傷風、23価肺炎球菌、狂犬病、B型インフルエンザ菌などがあげられます。

また、予防接種法による定期接種(予防接種を受けるよう努めなければいけないもの)として、小児期におけるポリオ、BCG、麻疹、風疹、百日咳ジフテリア破傷風、日本脳炎、高齢者におけるインフルエンザがあげられます。

以上のことから、予防接種とは、病原菌やウイルスに対しすぐに免疫を作れるように、免疫工場を用意するようなものです。10月1日から、インフルエンザの予防接種の受付が始まります。流行する前に予防接種を受けて、インフルエンザの流行に備えていただきたいとおもいます。

秋は、昔から「柿が赤くなると医者が青くなる」「食欲の秋」と言います。寒い冬に備えて体力を蓄える時です。免疫力も備えて体の冬支度をこころ掛けてください。(前川)



ケアサポートセンターようざん中居



遙か日本の裏側でのスポーツの祭典では連日日本選手のメダルラッシュで、寝不足になりながらも声援を送られていた方も多かったのではないのでしょうか。もちろん私もその一人です。昼は昼で甲子園球児達の汗と涙に清々しい感動を覚えながらも、我が身と比較して一抹の寂しさを感じてしまうこの頃です。

それはさておき、当所でも夏をおもいきり味わい楽しもうと利用者様と共に汗をかきながら色々行いました。送迎担当の黒岩職員が丹精込めて育てた(というか凄い勢いで伸びて実が生った)プチトマトを、皆で収穫し、様々な副菜にして味わいました。夏の太陽をいっぱい浴びて育ったトマトは瑞々しく甘く熟していて、召し上がった方は一様に太陽のような笑顔を見せてくれました。夏

といえばスイカ、スイカといえばスイカ割り!ということで、最近よく遊びに来る近所の小学生を交えてスイカ割り大会開催と相成りました。目隠しをして棒を持って、みんなの右だ左だ後ろだ前だの誘導でここぞとばかり「とりゃっ!!」と振り下ろすと見事…とはいかず、かすってみたり当たっても割れなかつたりの連続で大爆笑の渦であります。それでもやっとかき割れたのを食べてみたのですが、冷えてないしあんまり甘くないし、ちょっとがっかり顔でしたが、それはご愛嬌ということで、楽しんでいただけただけようでした。

まだまだ暑い日が続きますが、皆様と笑いながら過ごせればと思っております。また次の笑いの種を蒔いていこうと企画していますのでご期待ください。(伊藤)



ナーシングホームようざん

朝の空気に爽秋の気配が感じられる頃となりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか?ナーシングホームようざんでは秋暑にも負けず利用者様、職員共に元気に楽しい毎日を過ごしています。

さて、先日ナーシングホームようざんではオレンジカフェ(認知症カフェ)が開催されました。当日は雨足強く足元の悪い中にもかかわらず、近隣住民の皆様を始め沢山の方々にご来苑頂きました。施設の様子を見学されたり、利用者様と交流を頂いたり私達職員も大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。普段はブルーとベージュの制服の職員が浴衣やウェイター、ウェイトレス姿で接待させて頂いたので、利用者様の目には新鮮に映ったようです。所狭しと掲示された昭和時代の様々な写真をご覧になり、思い思いに昔を懐かしんでいらっしゃいました。歌生喫茶「昭和」では昭和時代に思いをはせながら皆様、口ずさんでいらっしゃいました。伴奏や手拍子、懐かしさも手伝って、普段、発語が少ない方や表情変化が乏しい方なども大きな口を開けニコニコ顔。「こんな大きな口…」「こんなに言葉が…」などと普段と違った利用者様の姿に驚かされる場面も多々ありました。色々な発見、気付きも多く、今後のヒントを得る事が出来たり、利用者様の生の声を伺うことで地域連携・交流の大切さ、介護の意味や在り方など沢山の事を学ばせて頂きました。日頃、苑内で過ごす時間が多く、外へ出掛ける事がなかなか難しい状況ではありますが、今後は今まで以上に地域連携、交流を目指し様々な取り組みを行っていきたくと思っています。

これからも、職員一同、お一人お一人の笑顔を大切にし人生の大先輩に寄り添い共に歩み続けて行けるよう努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。(石井)





スーパーデイようざん栗崎



空も秋色をおびてまいりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか?スーパーデイようざん栗崎の8月は、~涼を楽しむ~をテーマに「かき氷」や「すいか割り」そして、夏の特別企画として『夕涼みの会』を企画しました。

この夏を乗り切るため、熱中症にならないよう気をつけるのが、やはり水分補給!ただ、「飲んでください~(*_*)」とお声かけするのではなく、水分を自然にとれるようにと考え、スイカを凍らせてスムージーにしたり、かき氷のトッピングを利用者様に選んでいただき目の前でお作りしました(^^♪やっぱり王道の「イチゴ!」が大好評でした。

「夕涼みの会」では、夕方に外へ出て花火をしました。手持ち花火をすると、何とも言えない色合いに「きれいだね~!(^^)!!」と笑顔がこぼれ、夏の思い出がまた一つ増えました。

これからも皆様のたくさんの笑顔が見られるよう職員一同楽しい企画を提供してまいります。(渡辺)



特別養護老人ホームモデラート



残暑厳しい日が続きますが皆様、いかがお過ごしでしょうか?特別養護老人ホームモデラートが開設して早いもので4か月が経過しました。クラリネット、フルート、ピアノの3ユニットでは多くの入居者様の生活が日々営まれています。特別養護老人ホームモデラートでは今までの生活歴や在宅での生活スタイルが継続出来るようにユニットケアを取り入れています。個々に24時間シートを作成し、個別ケアの実践を目指し日々の関わりの中で

入居者様の思いや意向を汲みとれるようにケアを行っています。レクリエーションは本人様のご意向や趣味活動も考慮しながら制作活動や脳トレなどを個別で行っています。日々の生活を大切にしながら、生活に彩りを加える行事、レクリエーションを今後も企画していきたいと思ひます。

入居者様の生活を支える為にこれからもモデラート職員一丸となって笑顔忘れず、頑張っていきたいと思ひます。(須藤)



ケアサポートセンターようざん双葉



朝晩だいぶ涼しくなり、すっかり秋めいて、ついこの間の暑さが嘘のようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか?ケアサポートセンターようざん双葉では毎年恒例の夏祭りを8月12日に開催致しました。当日は職員手作りの「カクテル・あま酒・あんみつ・焼きまんじゅう・かき氷」の5種類を提供しましたが、どれも大好評で、ほとんど完売となりました。どこからか「もう一つちょうだい!」との声も聞こえてきたり、普段は食事量の少ない利用者様もこの日はべろりと全て完食していらっしやいました。また、出し物では

職員によるフルート演奏で、懐メロを歌ったり男性利用者様に好評だったダンスに炭坑節と最後まで笑いの絶えない夏祭りとなりました。最後は「この暑さを乗り切ろう!!エイエイオー!!」の掛け声で締めくくりとなりました。誰一人ケガもなく最後まで楽しいひと時となりました。次回は秋祭りです。利用者様や地域の方に楽しんでいただけるようなイベントを企画していきたいと思ひます。どうぞお楽しみに!!(大塚)

ケアサポートセンターようざん藤塚



皆様、季節の変わり目ですが、体調など崩されてはいませんか？
 ケアサポートセンターようざん藤塚は8月1日で開所から6か月を迎えました。それを記念して(?)利用者様と職員で力を合わせて看板&ようざんぐんまちゃんを制作しました。高崎だるまや、桃、招き猫、鶴、亀、藤の花と色鮮やかで立派な看板ができました。ぐんまちゃんはようざんの青いユニフォームを着ていくわいく仕上がりました。制作期間は約3か月ととても頑張りました。皆様、是非自慢の看板を見にいらしてくださいね!

8月6日は高崎花火大会がありましたね。ケアサポートセンターようざん藤塚の駐車場からはとても綺麗に花火が見えました。花火大会を楽しみにされていた利用者様と一緒に見ました。「若い男性と二人で花火を見られるなんて幸せだよ～」と嬉しいお言葉を頂きました。

開所当時はなかなか出来なかったランチレクリエーションや

おやつレクリエーションもだんだんと増えてきました。8月7日には昼食に手打ちうどんを作りました。さすがは人生の先輩方、職員よりも慣れた手つきで粉をこねたり、踏んだり、とてもおいしいうどんが出来上がりました!ある利用者様は前々から「うどんが食べたいねえ…」とおっしゃっていたのでとても喜んでいらっしゃいました。また14日には冷たいあんみつを作りました。アイスクリーム、あんこ、フルーツミックスとボリュームがあるあんみつでしたが、皆様「あんみつなんて久しぶり!」「冷たくてうまいねえ」とお話しそうに召し上がっていらっしゃいました。いくつになっても甘い物は別腹ですね♪

開所から半年とまだ間もない施設ですが、ケアサポートセンターようざん藤塚の毎日は笑顔や笑い声でとても明るいです。これからも利用者様の想いに寄り添ったケアをしていきたいと思っています。(北爪)

ケアサポートセンターようざん貝沢



オリンピックが盛り上がった今年の夏も、終盤に差し掛かってきましたが皆さまいかがお過ごしですか?台風がやって来たりと少しずつ秋の歩み寄りも感じられますが、その一方でまだまだ酷暑の時期ですので、熱中症などの暑さ対策には気を許さずにいきたいと思います。

ケアサポートセンターようざん貝沢ではそんな晩夏の納涼イベントとして「いやしの里」を行いました。提灯を張り巡らせたミニお祭りやぐらを囲んでの夏祭りです。羽織った法被がお祭り気分を盛り上げてくれます。夏らしいメニューをたくさん用意して美味しく召し上がっていただきました。特にドリンクは「おいしいねえ」と何杯も違うメニューをおかわりして楽しんでいらっしゃいました。イベントでは〇×ゲームで頭をひねってから、盛り上がりのスイカ割り。スイカ割りでは「もっと右〜!違う違う左だよ〜!そうそう、そこだよ〜!」と皆様の大歓声と大喝采と笑顔があいにくの台風を完全に吹き飛ばしていました。フィナーレの盆踊りで大団円。やぐらを囲んでの踊りでは、手拍子と合唱で楽しくもちょっと懐かしい、夏祭りの風景を皆様存分に味わっていただくことができました。「楽しかったよ、お祭りはいいねえ」とのお言葉もいただくことができました。

これから季節の変わり目となりますが、利用者様、スタッフともども体調管理には充分気を付けて、笑顔いっぱい元気いっぱいの毎日を送れる様、努めていきたいと思っています。(高橋)

訪問介護ぽから



まだまだ残暑厳しい今日この頃ですが、9月という日本の美しい唱歌を思い出します。

「夕焼け小焼けの赤とんぼ おわれて 見たのは いつの日か…」

「うさぎ追いかの山 小鮒つりしかの川 夢はいつもめぐりて…」など

「赤とんぼ」「ふるさと」は私たちの多くが口にすることができる歌です。これらの歌い継がれてきた唱歌は、どんな方でもメロディが流れると曲に合わせて口ずさんだり、拍子を取ったりして、表情が柔らかくなります。

誰もが幸せな気持ちになれる日本の美しい唱歌の価値を、介護の仕事を通じて再確認させて頂きました。

長寿社会を生き抜く秘訣は、いかに穏やかな気持ちで一日一日を過ごすかにあるのではないのでしょうか。利用者様と一緒にふるさとの山々に思いをはせながら、美しい唱歌を口ずさむ時、なんとも言えない平安感に満たされることでしょう。

秋がすぐそこまで来ています。日本の美しい唱歌を再発見する旅に出かけてみてはいかがでしょうか？(高橋)

スーパーデイようざん石原



皆様こんにちは。朝晩の風が心地よい季節となりました。スーパーデイようざん石原では、8月も利用者様の笑顔がたくさんいただきました。先ずはおやつレクリエーションでは、利用者様のリクエストで「水ようかん」を皆で手作り。今回は、健康を第一に考えて甘さ控えめに仕上げましたが「砂糖が少なくてどうかと思ったけど、さっぱりして美味しいわね」と好評でした。続いてのランチレクリエーションでは「そうめん&ゴーヤチャンプル&すいかゼリー」を作りました。食材は、利用者様のご自宅の畑で採れたあまーいすいかに、職員の家で採れた立派なゴーヤを女性利用者様のみならず、男性利用者様にも調理をお手伝いして頂きました。男性利用者様の、エプロンにバンダナ姿に照れていらっしゃるご様子や慣れない調理に苦戦されるご様子が、なんだかとても微笑ましかったです。完成した料理の味は、もちろん◎!皆さん「おいしいー!!」と召し上がっていらっしゃいました。夏の恵み

に感謝です。

さらにお誕生日会では、8月生まれの利用者様が5名いらっしゃいました。中でも91歳と94歳のご長寿お二人には「おめでとう!すごいねー」「これからも元気でねエ」「目指せ100歳!」とひととき祝福の音が送られていました。一緒にお祝いさせていただいた私も嬉しくて、つい目頭が熱くなってしまいました。皆さん本当におめでとうございます。これからもお元気で。

目頭が熱くなったのは、もう一つ。そう!何と言ってもオリンピックです。スーパーデイようざん石原でも日々のレクリエーションにオリンピック色を取り入れ、熱い声援を送り続けました。その甲斐あって(!?)か、日本選手団の快挙、過去最多のメダル数の獲得となりました。勇気と感動をありがとう!4年後の東京オリンピックも、また皆さんと一緒に応援したいと思います。がんばれ!につぼん!(萩原)

ケアサポートセンターようざん栗崎



暦の上では秋になりましたが、まだまだ残暑が続いています。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

ケアサポートセンターようざん栗崎ではランチレクリエーションとして流しそうめんを企画しました。当日はあいにくの天気で、急遽室内に機材?!を設置。利用者様にそうめんを召し上がっていただきました。また別の日には、室内レクリエーションとしてすいか割りを行いました。利用者様は「割るのは難しいねー」とおっしゃいながら

も楽しい時間を過ごしていらっしゃいました。

ケアサポートセンターようざん栗崎では、あやとりを通して利用者様が仲良く談笑されたりと、いつも和気藹々とした雰囲気です。もちろん、機能訓練もしっかりと行っています。「昼に体を動かすと夜はよく眠れるわ」と利用者様には大変喜ばれています。これからもようざんに来てよかったと思って頂けるよう職員一同頑張りたいと思います。(小笠原)

デイサービスようざん並榎



いつもようざん通信をご愛読して下さっている皆様、ありがとうございます。今月も「明るく意義のある取組みを笑顔で!」を目標に各種レクリエーションを提供させて頂きました。一部ではありますがご紹介させて頂きます。

まずは食事レクリエーションにてお洒落なネーミングで話題の「ナイスクリーム」、昔懐かしの「きなこ棒」を提供させて頂きました。普段召し上がる事が少ない新しいデザートに興味津々で召し上がったたり、幼少の時に食べた思い出を懐かしく語る姿が見受けられました。他にも、デイサービスようざん並榎では「日本全国うまいもの展」と称して月に1回、各都道府県の料理を提供しています。今回は長崎県の「長崎ちゃんぽん」。普段、あまり食欲がない方もこの日はペロリと完食♪また、作る際に利用者様にも手伝って頂き「いつでも私に出来る事があったら言ってください」などの温かいお言葉も聞かれました。

そしてそして、楽しいイベントが大好きな利用者様と職員…「デイサービスようざん並榎夏祭り!」やっちゃいました♪当日はワイワイガヤガヤ(笑)で大変盛り上がりました♪やはりお祭りに年齢は関係ありませんネ。職員も一緒になって楽しませて頂きました。

簡単ではありますが、いくつかご紹介させて頂きました上記のレクリエーション。実はこれらの裏側には「脱水防止(水分補給)」「食欲向上」「回想法」「生きがい」を楽しく提供することによって

心身共に日常生活にハリをつけることを狙いとしています。まだまだ発展途上ではありますが「認知症ケアが得意なようざん」、その入り口として多く利用されているデイサービスようざん並榎ではしっかりと「認知症予防・維持」「ADL(日常生活動作)の維持・向上」を日々の体操やレクリエーションで行っています。「オレンジカフェ」(通称:認知症カフェ)も法人内で始まり、のんびりとお茶を楽しみながら日頃の家庭での介護ストレス、これから訪れるかもしれない認知症への不安や予防策を話し合える場所を全事業所で作りました。専門の職員と一緒に参加していますのでお気軽にご参加下さい。オレンジカフェは日程が決まっていますが、その日に限らずいつでもデイサービスようざん並榎に遊びに来てください。各種掲示物、パンフレットも用意してあります。

最後に、2000年から始まった新しい介護のカタチ、日々情勢が変わり介護・看護業界では目まぐるしい変化が訪れています。マスメディアの普及もあり利用者様ご本人、そしてそのご家族の知識・関心も高まっています。そんな中で専門性を持って地域の皆様安心して安全に過ごして頂けるように、私達職員一同、OJT(職場実技研修)や外部研修にて実力を身につけるよう切磋琢磨しています。「しっかりとした裏付けのあるケア」を「楽しく」をキーワードに、これからも多くの皆様に笑顔をたくさん提供していきたいと思ひます。(行方)

スーパーデイようざん



朝晩とだいぶ涼しくなり秋の入り口が見えてきましたが、まだまだ日中は暑い日が続いている今日この頃皆様いかがお過ごしでしょうか?

8月スーパーデイようざんは利用者様に夏の季節を感じていただこうと思い、通貨レクリエーションでピアガーデンを計画し沢山の事業所の方に参加していただきました。ありがとうございます。

当日盛り上がる為には、やはりなんと言っても事前準備が大事です!利用者様、職員一緒に手作り提灯を作りました。色鉛筆で塗り絵をして下さる方、はさみで切って下さる方とそれぞれの役割の中、皆様で力を合わせて作っていただきました。そして当日はその提灯をビニール紐に付けて飾りその下で、焼きそば、焼きとうもろこし、ノンアルコール飲料、カキ氷等が売られ皆さんで囲みながら食べたり、飲んだりと盛大なピアガーデンとなりました。また来ていただいたお客様には手作り風鈴をプレゼントし大いに喜んでいただき大好評でした。また来年も企画致しますのでぜひ足を運んでください。

今回のピアガーデンもそうですが、私達は利用者様の笑顔、「楽しかったよ」の言葉を聞きたくさんの元気、勇気を頂いています。これからも職員一同、利用者様と共に楽しみながら過ごす時間を大事に大切に、利用者様に頂いた元気や勇気を利用者様にお返しできるよう職員一人一人頑張っていきたいと思ひます。(山内)



グループホームようざん倉賀野

朝夕、日毎に涼しくなり皆様におかれましては益々ご健勝のほど、お喜び申し上げます。さて、グループホームようざん倉賀野の花壇にはたくさんの「ひまわり」が花盛りとなっています。散歩の帰りや外へ出るたびに皆様気になるようで、「咲いたかねえ?」「大きいねえ。」「キレイだねえ。」とひまわりに負けない笑顔でおしゃっています。

先日、オレンジカフェようざん倉賀野で、ギターとキーボードの演奏による「葵とみいーちゃん」の歌を皆様にもお聞きいただきました。心に染みわたる可愛らしい歌声に合わせて、皆様の大好きな童謡や「上を向いて歩こう」「花は咲く」など全員で大合唱となりました。会の途中でみいーちゃんによる空手の「形」の披露もありました。「ヤァ!ヤァ!」と可愛らしくも力強い掛け声がホールに響き渡り、皆様も「可愛いねえ。」「あんな小さい子がすごいねえ。」と感心されていました。最後まで元気な声と笑顔溢れる、とても貴重な時間を過ごすことができました。(武井)



スーパーデイようざん双葉



萩の花が風にゆれる頃となりました。皆様いかがお過ごしですか?スーパーデイようざん双葉では毎月双葉町のふれあいサロンに参加させていただくなど日頃から地域の皆様との交流を持たせていただいています。

先日は近隣の方に小物作りの講師としてお越しいただきました。リボンを使った可愛らしく涼しげな金魚の飾り物です。この方とは利用者様との散歩の途中、挨拶を交わすようになったのがきっかけで親しくさせていただいています。可愛らしい小物を



作ってはスーパーデイようざん双葉に持ってきて下さり利用者様も「よく出来てるね。どうに作るのかなあ?」と興味津々。そんなやりとりがあって、この度このような機会を設けさせていただきました。近隣のお子様も参加され、お話ししながら一緒に金魚の飾りを作りました。丁寧に教えて頂きお陰様で楽しいひと時を過ごす事が出来、利用者様もお子様も大変喜んでいらっしゃいました。これからも地域の皆様とのふれあいを大切にしていきたいと思っています。(梨本)



ケアサポートセンターようざん飯塚

お盆も過ぎ、夜は鈴虫などの鳴き声も聴こえるようになり、夏の終わりをを感じる時期となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか?

ケアサポートセンターようざん飯塚では8月21日に利用者様たちに感謝の気持ちを込めて夏祭りを行いました。職員による切り絵芸、ヨーヨー釣りやスイカ割り、駄菓子やフランクフルトなど、職員が準備したささやかな催しを、和やかな雰囲気の中で、利用者様方に楽しんでいただきました。ヨーヨーを必死で釣ろうとする姿、スイカを楽しそうに分け合う姿。皆さまの童心に返ったかのような表情を見ていると、皆様の和やかな雰囲気や笑顔にいつも感謝の気持ちと力を頂いている私がいることを改めて感じました。

暑い日々はまだ続きますが、皆さま体調管理をしっかりとして行って元気に秋を迎えましょう!!今後もケアサポートセンターようざん飯塚をどうぞよろしくお願いいたします。(新井)



グループホームようざん



お盆明け頃から夏の暑さも和らぎ朝・晩は幾分か過ごしやすくなってきましたが夏の疲れが残っている方も多いのではないのでしょうか？

今年は連日の猛暑続きで、利用者様も外に散歩へ出かけることも出来ず、室内に缶詰の状態となっていました。室内のエアコンもご高齢の利用者様に合わせて調節をしながら水分をしっかり取って頂くように心がけ、なんとか夏を乗り切ることが出来ました。

さて、グループホームようざんではお盆におはぎとグリーンスムージー作りレクリエーションを行いました。もち米と普通米を半々に炊き上げふっくらもちもちの炊き上がったお米をすり棒でつぶしそこへ甘〜くて美味しい粒あんを利用者様と職員で



愛情をこめて包み上げました。

グリーンスムージーは小松菜やバナナ、ヨーグルト牛乳など野菜とフルーツをジューサーでミックスし夏の疲れを癒してくれるまろやかな味に仕上がりました。おはぎ作りの最中には美味しそうなおはぎを目の前にして我慢が出来なかったのでしょうか利用者様がつまみ食いをしてしまうというカワイイハプニングもありました(笑)ワイワイみんなで楽しい時間を過ごすことが出来ました。美味しそうにほおぼって食べる利用者様の姿に癒しを頂きました。

今年の夏は猛暑、冬はとても厳しい寒さになるといわれています。利用者様の体調の管理をこれからも継続的に職員一同心がけていきたいと思えます。(岡本)

ケアサポートセンターようざん



皆様、こんにちは。寝苦しい夜が連日続いていますがお過ごしでしょうか？

ケアサポートセンターようざんでは、「らーめんともや」さんに来ていただき食事レクリエーションを行いました。利用者様一人一人にスープの味を伺ったところ…「味噌!」「私ね〜醤油!」大きな声でおっしゃっていました。素敵な笑顔もたくさん見せていただくことが出来ました!

今年も夏の恒例行事「流しそうめん」を行いました!ある利用者様は朝から「今日は流しそうめんだって〜!」と満面の笑みを浮かべ他の利用者様に伝えていました。そうめんを流し始めると皆さん真剣な目つきで箸を握っていました。「あ〜!取れた!取れた!」「全然取れないよ(笑)」など楽しんでいただくことができました。普段小食の利用者様も「まだまだ食べられるよ〜」とたくさん召し上がっていらっしゃいました。

もう一つ忘れてはいけない夏の行事「スイカ割り」も行いました。利用者様はもちろん、職員もはしゃいでいました(笑)何歳になってもすいか割りは童心に返って楽しめますね!割ったすいかは美味しくいただきました。

これからも利用者様の素敵な笑顔を見ることができるよう楽しいイベントを考えていきたいと思えます!(金田)

居宅介護支援事業所 ようざん

<2018年の介護保険改正はどうか?>

介護保険制度は3年に1度改正があり、前回2015年の改正では、介護報酬の引き下げや一部利用者の自己負担割合2割など、事業者にとっても利用者にとっても厳しいものでした。今後さらなる高齢化が進めば、介護や医療などの社会保障関係の費用はさらに膨らむ事が予想されます。団塊の世代が後期高齢者になりはじめる2020年代には、社会保障関係費はさらに増えていきます。そこで国は今から予算を絞り込み、現状程度の増加割合に抑えていこうとしています。主な内容(改正案)としては、介護保険利用時の自己負担を原則2割、軽度者対象の福祉用具貸与・住宅改修の自己負担化(一部補助)、要介護1・2への通所介護サービス等について、自治体の予算の範囲内で実施する仕組み

(地域支援事業)へ移行、訪問介護の生活援助の自費化などです。ほかにもありますが、特に大きな影響を受けそうなのは軽度要介護者です。この案通り制度改正されれば、生活を支えるサービスを失う高齢者が大勢出る可能性があります。その高齢者を地域でどう支えていくのか。そして介護保険で得られる収益が減っていく中、どうやって収益を上げていくのか。この両方を、介護関係者は考えていかなければなりません。

2018年には医療と介護の報酬同時改定が控えています。ここで大きな影響の出る改定がされるのは間違いありません。それに備え、介護保険のこれからについての情報には敏感になっていく必要があるのです。(清水)

ショートステイようざん並榎



暑さもようやく和らぎ涼しく過ごしやすい季節になってきましたね!!夏から秋へと季節の変わり目は体調を崩しやすいので、うがい、手洗いなど風邪予防等自己管理に努めて十分な体調管理をしていきましょう☆☆☆

ショートステイようざん並榎ではこの夏、利用者様に元気に楽しく過ごして頂けるよう夏にはかかせないかき氷を作りました。好きなシロップを選んで頂き「おいしい」「冷たい」「昔はこんな色なんてなかった～」「色のないシロップなんて知らないだろう」など、昔のことを思い出しながら、かき氷を召し上がって頂きました。

8月は食事レクリエーションとして流しそうめんを行いました!!流れる水を見て少しでも涼んで頂ければと思い企画しました♪薬味やてんぷらを入れて美味しく召し上がることができ、大変好評でした\(^o^)/



また、ショートステイようざん並榎の利用者様が、今月の8月7日に100歳のお誕生日を迎えられました(@^^)/~~~おめでとうございます(拍手)!!職員と利用者様で手作りケーキを作り召し上がっていただきました。100歳という記念すべきお誕生日と一緒に祝福できたことを光栄に思います!!長生きの秘訣をお伺いしたところ「何でも食べること」とおっしゃっていました(^o^)皆様の長生きの秘訣はどんなことでしょうか?

どんどん秋らしくなっていくので来月も秋をいっぱい感じることでできるレクリエーションを計画し季節を満喫していきたいです☆☆☆これからも日々、健康で楽しい毎日をご過ごしていただけるように私たち職員も精進していくつもりです!!今後ともショートステイようざん並榎をよろしくお祈りします\(^o^)/(大澤)

ケアサポートセンターようざん倉賀野



9月に入り朝晩の寒暖の差を感じられるようになりました。皆様体調など崩されていませんか?

8月もたくさんのレクリエーションを行いました。まずは私が担当しているおやつレクリエーションについてお話します。8月は3人の利用者様が誕生日を迎えました。バナナチョコパフェやあんみつを作りお祝いしました。『甘くて美味しい』『これ手作りの?』お店で買ってきたみたいとおっしゃって下さり、とても喜んでいただきました。

夏はやっぱりかき氷!ご自身でかき氷機を操作し、シロップ選びも「どれがいいかなあ～」と、迷いに迷った挙句、「これもこれも」と、数種類のシロップをかける利用者様も。当たり前ですが、職員が全部行って提供するよりも、可能な限り参加していただくことが、コミュニケーションを図るには最適ですね。これからも利用者様が笑顔で『おいしい』とおっしゃって下さるおやつ作りを利用者様と一緒に行っていききたいと思います。

慰問では新町小学校(第一、第二)の学童のみなさんが来て下さ



いました。`新町小の校歌、や`上を向いて歩こう、を歌って下さり、そのあと利用者様の肩たたきをしたり、たこ焼きを一緒に作ったりして楽しんでいただきました。また、職員の親戚一家(三世代)による慰問“葵とみいちゃん”では、歌や習い始めて間もない空手の型の披露に、利用者様は自分のお孫さんを見るように、皆様目を細めていらっしゃいました。中には感動して涙される方も…終わった後の握手会?!では、我先にと握手を求める方がほとんどでした。慰問に来てくださった皆様、ありがとうございました。

オレンジカフェでは、認知症予防ミニ講座と健康体操を行い、参加者の皆さまに大変喜ばれ、かき氷や特製ミルク&コーヒーゼリーを食べながらの話にも花が咲きました。これからの地域のあり方や、どのようにしたらこの場所(ケアサポートセンターようざん倉賀野)に集まっていたいただけるかななどを話し合いました。

私達、ケアサポートセンターようざん倉賀野では、これからも利用者様・ご家族に安心して過ごして頂けるように“ホッ”と出来る時間・空間の提供を行っていききたいと思います。(和田)

グループホームようざん飯塚



残暑厳しい中、皆様いかがお過ごしでしょうか?8月はオリンピックで盛り上がりましたね。テレビの前で熱い声援を送り、金メダルに利用者様の大きな歓声がホール内に響き渡ります。「次は東京オリンピックだよ。まだまだ元気に長生きしないとね」と日本選手の活躍にパワーを貰ったグループホームようざん飯塚です。

さて、8月のランチレクリエーションでは、利用者様より「さっぱりしたものが食べたい」とのリクエストがあり、みんなで冷や

し中華を作りました。利用者様がきゅうりとハムをトントンとリズム良く刻む音がホール中に響き渡り、トマトの赤、錦糸卵の黄色、きゅうりの緑と色鮮やかな冷やし中華は「さっぱりしておいしいね〜」「食が進むね〜」と大好評でした。

夏らしいイベントも盛り沢山で、浴衣を着て『何十年ぶりに着たかな〜』と素敵なポーズを披露して頂いたり、うちわ作りに参加されたり、また、エプロン作りに制作活動に、夏ばて知らず!!で元気に夏を楽しんでいらっしゃいます。(丸茂)

スーパーデイようざん中居



お盆休みも終わりましたね。まだまだ残暑厳しい日が続いてありますが皆様いかがお過ごしでしょうか?私たちスーパーデイようざん中居の利用者様と職員は、その暑さを楽しむかのように毎日色々企画し過ごしています。

夏の定番、スイカ割りやアイスクリーム作り、ひまわりを見にドライブにも出かけました。皆様と一緒に白玉を作って、おやつに召し上がって頂いたのですが、この夏は枝豆をすり潰し「ずんだあん」を作ってみました。豆の薄皮まで丁寧に剥いて頂き、すり鉢を使い豆の香り高い餡が出来ました。その他のイベントとして、毎月恒例の「中居食堂」では夏野菜を使い蒸し鳥を中心としたメニューを提供させていただきました。指先を使って頂くレクリエーションとしてブローチを作り、出来上がったブローチをスーパーデイようざん飯塚第2ヘデリバリーし喜んで頂きました。お返しにかき氷をいただきました…美味しかったです〜ご馳走様でした!スーパーデイようざん双葉の夏祭りにお呼ばれするなど他事業所との交流も盛んに行い、コミュニケーションの輪を広げています。毎日の体操で必ずデュアルタスクを取り入れているのですが、今月はレクリエーションに脳トレ体操を行いました。ただ、脳を使うトレーニングだけでは利用者様も疲れてしまいますので楽しく飽きずに出来るようにと、ゲームを取り入れたり会話を楽しみながら行いました。

これからも、ただ楽しいだけでなく「認知症が得意」なイベントを企画し、利用者様に有意義な時間を過ごして頂けるように職員一同お待ちしております!(川岸)



特別養護老人ホームアンダンテ



暦の上では秋になりましたが、まだまだ残暑が続いています。引き続き熱中症には気を付けてお過ごしくださいませ。

さて、私ども特別養護老人ホームアンダンテは暑い夏を吹き飛ばすべく、八幡町の夏祭り参加と、フルートと箏の演奏会の慰問、スイカ割りを行いました。

八幡町の夏祭りは二日間行われ、一日目が夕方からの盆踊り大会。二日目はお神輿と山車の渡御がありました。盆踊り大会は4名が参加し、「踊ったことないもの〜」と恥ずかしがっていた利用者様も、盆踊りが盛り上がってくると「こんなの初めて! 楽しいわぁ」と大興奮でした。二日目のお神輿と山車の渡御は玄関先で利用者の皆様とお出迎えをしました。山車を引く子供たちの元気な声と大人たちの担ぐお神輿の威勢の良さに、笑顔と元気をたくさんいただきました。

フルートと箏の演奏会は洋と和の音楽が見事に調和し、「春の

海」「朧月夜」「見上げてごらん夜の星を」などたくさんの曲が演奏され、感動して聞き惚れてしまいました。フルート奏者の木村ひかりさん、箏奏者の本多理紀さん、ありがとうございました。

スイカ割当日の午前中は雨だったのですが、日ごろの行いがよかったです。午後は見事に晴れ上がり屋外のスイカ割りが出来ました。職員がヘルメットに紙風船をつけたものも割っていただくとしたのですが、「申し訳なくて叩けないよう」とおっしゃる場面も。利用者さんのお気持ちがとても嬉しく思いました。

そして最後に宣伝を! 10月8日に特別養護老人ホームアンダンテでは秋祭りが開催されます。とても楽しいものになるよう職員一丸となって準備を進めています。ぜひ多くの方にご参加いただけますようよろしくお祈りします。(金澤)



ケアサポートセンターようざん小埜



処暑を過ぎ、朝夕は幾分過ごしやすくなってまいりました。8月のケアサポートセンターようざん小埜のレクリエーションでは、水分補給?おやつレクリエーション?ゲーム?夏しか出来ない「スイカ割り」を行いました。近所のスイカ農家の方に格安でスイカを譲って頂いたのです。スイカ割りの前に「これ、おいくらでしょう」「重さは何キロあるでしょう」クイズを行いました。値段は格安で驚き!(スーパーなら3千円はするような立派なものでした。)重さは油断すると落としそうなほどの重さに感じたので、私は4キロと答えましたが、量ってみるとまさかの11キロ!もちろん正解は誰もいませんでした。そんな大きなスイカなのでなかなか割れません。竹の棒で女性利用者様が思い切り叩いたところで凹みが付き、その後職員がグルグル10回まわった後に思い切り叩いてもヒビが入る程でパツカリとは割れませんでした。おやつに美味しく頂きました。利用者様からの大きな声援とたくさんの笑顔が多く見ることができ、私たち職員も嬉しく楽しい時間を過ごすことができました。

外出イベントとしては、『ジェラートを食べに行こうツアー』を企画し下里見町にある『アルベロ』というアイスクリーム屋さんへ行って来ました。

また、食事のイベントとして『流しそうめん』を行いました。流れてくるそうめんを皆様上手に取って召し上がっていらっしゃいました。「準備大変だったでしょ?暑い中ありがとね。」と利用者様からお礼の言葉を頂きました。

今後は『小埜祭り』などのイベントを予定しています。

まだ厳しい残暑が続くようです。水分、塩分の補給に気を付けて、利用者様と季節のうつりかわりを楽しんでいきたいと思いません。(南雲)

スーパーデイようざん小埜



朝に晩に、秋の雰囲気を感じるようになってきました。皆様、夏の疲れは溜まっていませんか?早めに解消して、楽しく秋を迎えましょう!

スーパーデイようざん小埜では、暑さを乗り切るイベントを開催し、利用者様と共に笑顔溢れる時間をたくさん過ごしました。スイカ割りでは、利用者様の身体状態に合わせて、工夫しながら参加していただきました。「もう少し右だよ!行き過ぎ左!左!」と大きな声で、スイカまでの誘導に全員で大いに盛り上がり…見事スイカに当たると大歓声!!新規利用者様も参加され、スイカを連打するお茶目なハプニングも!大いに働いてもらったスイカはおやつとして美味しくいただき、乾いた喉を潤すことができました。

夏祭りでは、夏休みのラジオ体操の如くスタンプカードを首に掛け、金魚すくい、射的、輪投げを童心に戻って楽しんでいただきました。体をたくさん動かした後は、お腹を動かす時間ということで、ところてんと焼きまんじゅうを準備。焼きまんじゅうを焼いている時の、甘〜いたれの香り。利用者様、職員共々、それぞれの懐かしいあの頃にタイムスリップしたような、貴重なひと時を過ごしました。(遠藤)

スーパーデイようざん貝沢



残暑厳しい今日この頃、皆様元気にお過ごしでしょうか?水分をしっかり摂って、まだまだ暑い日々を元気に、笑顔で過ごしましょう。

さて、スーパーデイようざん貝沢では15日に毎月恒例の『スイーツデリバリー』を行いました。今回はバナナをメインに、利用者様と職員とで協力し合って「バナナプリン」と「バナナパンケーキ」を作り、他事業所へとお届けしました。残念ながらプリンはちょっと固まり方が甘かったようですが…パンケーキは『美味しいよ』『ありがとね』ととびきりの笑顔と感謝の言葉を頂けたことが本当に嬉しかったです。

また22日には『いやしの里～貝沢夏祭り～』を行いました。○×クイズやジェスチャーゲームに大笑いしながら参加して下さる利用者様のいきいきとした姿がとても印象的でした。スイカ割りにも挑戦していただき、割れそうで割れないスイカに悪戦苦闘!ですが皆様は大いに盛り上がり下さいました。そして最後はみんなで一緒に盆踊り。職員が気合いを込めて作った立派なやぐらを囲んでおなじみの炭坑節と東京音頭を踊り、とても楽しい夏祭りとなりました。

今後も利用者様の笑顔の為に頑張ります。(外所)



ケアサポートセンターようざん並榎



立秋は過ぎましたが、残暑厳しい折、ケアサポートセンターようざん並榎の利用者様は、ますますお元気でほっとしている所です。8月もイベントが目白押しで中でも「らーめんともや」さんによる出張ラーメンは大好評でした。「やっぱりプロの味は違うね」「作り立てのラーメンは美味しいよ」と本当に喜んでいただきました。又、お盆にちなんで、おはぎ作りも行いました。あずき・ずんだ・きなこ3種類作りました。「ずんだは初めて作ったよ」という方が多く、枝豆をさやから外し、薄皮も丁寧にとりました。皆で協力しあいながら手早く楽しく出来、美味しそうに召し上がりおかわりの希望者も続出でした。

スイカ割りも行いました。皆様、最初は参加することに消極的でしたが、職員が付き添いお一人ずつサポートしながら行い、上手に叩けたり空振りされることもありましたが、参加された方々は童心に返ったかのように夢中で叩いている様子が見られました。その後、事前に用意していた別のスイカを皆様でたくさん頂きました。「暑いときに食べるスイカは最高だね」「案外面白かったね」との感想とともに「また来年もやろうね」と早くも気持ちは来年に移っていました。

これからも、利用者様の声に耳を傾け少しでも意欲的な気持ちになって頂けるよう、声かけを行いながら共に歩んで行きたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。(市川)



スーパーデイようざん飯塚第2



2016年・夏!!!リオオリンピックでは全世界が熱く燃えましたね。日本代表の選手のみなさん感動をありがとうございました。そして、甲子園球児の皆さん!!胸が熱くなるような感動の試合をありがとうございました。そんな感動の嵐が吹き荒れる暑い夏、ここ、スーパーデイようざん飯塚第2ではリオオリンピックや甲子園球児に負けられないの情熱的で熱い時間を過ごしてもらいました。大正琴の生演奏で優雅に歌い、8月3日のハチミツの日にハチミツたっぷりのパンケーキを食べ、8月9日は黒柳徹子の誕生日だったので彼女に関するプロフィールを調べ、それをクイズにして楽しみ、8月11日の山の日には富士山のDVDを観ながらみんなで山登り気分を味わい足踏み体操などして体を動かしました。5合目でお土産を買うなら?の話で盛り上がりましたね。8月13日にはみんなでおはぎも作りました。自分好みの大きさや味を選んで楽しく美味しくいただきました。8月15日はお刺身の日、魚にちなんだ漢字クイズ、難しかったです…鱈・烏賊・海星・海豚…トンチンカンな答えを叫んで

しまつてごめんなさい。もっと勉強してきます。そして、8月16日は月に1度のようざん通貨レクリエーションの日です。数日前から利用者様と飯塚エリアの他部署に宣伝に出掛けたお蔭で、当日は沢山の参加者が集まりました。職員は浴衣を着てお祭り会場のような雰囲気になりました。その浴衣、私一人では着られないので利用者様に着付けをお願いするという…。次回からは一人で着られるように勉強してきます。通貨レクリエーションでは浴衣に似合ううちわ作りを皆さんに楽しんでいただきました。みなさんとても楽しそうに制作していらっしゃいました。参加して下さった他部署の皆様、ありがとうございます。オリジナルうちわを使って涼しく残暑を乗り切ってくださいね。紹介した以外にもたくさんの「楽しい」が山盛りのスーパーデイようざん飯塚第2は夏が過ぎてもまだまだ熱く盛り上がりつつあるのでみなさん遊びに来て下さいね。職員一同お待ちしております。(國森)



ケアサポートセンターようざん石原

9月に入り秋の気配を少しずつ感じられる季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

ケアサポートセンターようざん石原では夏の風が気持ち良く感じられる日は積極的に外出を心がけています。しかし今年の夏は天候が厳しい時の方が多かったので、屋内レクリエーションの充実を意識して8月を過ごしてきました。なかでも毎年恒例の“屋内夏祭り”は定番のヨーヨー釣り、射的に加え今年はミニフランク、たこやき、かき氷と食べ物も充実させてみました!フロア内に太鼓囃子のCDを流し雰囲気作りもばっちりでした。利用者様方は用意させていただいた食べ物を笑顔で召し上がって下さったり、普段見ることができないほど?!の真剣な表情でゲームに集中していらっしゃったりと、とても充実した時間を過ごすことができました。

季節の変わり目です。利用者様はもちろん、私達職員の体調管理もしっかりと行い今月も利用者様に楽しんで頂ける企画をご用意して職員一同頑張ります!(中島)



ショートステイようざん



猛暑も終わり秋になりました。今年の夏は楽しかったでしょうか?山の日の祝日が出来、家族で出かけられた方も多かったのではないのでしょうか。

今年の夏も暑かったですね。日中は外に出ると焼ける様な暑さで、利用者様も室内と屋外の温度が違うことに、びっくりしていらっしゃいました。涼しい時には外へ出て散歩をしたり、屋外で歌を歌ったり、お茶をしたりと気分転換を図っていただきました。

お盆が終わった後に恒例のビアガーデンを行いました。花火を楽しみ、すいか割りでエキサイトし、縁台でビールやジュース、焼きそば、燻製などを召し上がっていただきながら、岩鼻の花火観覧。利用者様は大変楽しそうにいらっしゃいました!宿泊施設ならではのイベントが出来て職員一同、やって良かった!と言える一日でした。

また、この日はStudioようざんというイベントもあり、日ごろ着物を着なくなった利用者様に昔を懐かしんで頂くと共に綺麗になって頂き記念撮影を行うという企画です。

これから、少しずつ涼しくなっています。皆様、お身体をご自愛ください。(山口)

ケアサポートセンターようざん

事業所案内

所在地	提供サービス	事業所名	電話番号	FAX
高崎市 上並榎町 1180	看護小規模多機能型居宅介護	ケアサポートセンターようざん	027-386-6643	027-387-0310
	訪問看護	訪問看護 ケアサポートセンターようざん	027-386-6643	027-387-0310
	小規模多機能型居宅介護	ケアサポートセンターようざん並榎	027-386-5843	027-387-0310
	認知症対応型デイサービス	スーパーデイようざん	027-362-0300	027-362-0036
	グループホーム	グループホームようざん	027-362-0300	027-362-0036
	居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所ようざん	027-329-5443	027-362-0036
	デイサービス	デイサービスようざん並榎	027-362-4373	027-329-6648
	ショートステイ	ショートステイようざん並榎	027-329-6643	027-329-6648
	請求事務	本部事務所	027-362-0300	027-362-0036
高崎市栗崎町 141-1	小規模多機能型居宅介護	ケアサポートセンターようざん栗崎	027-353-4393	027-353-4392
	認知症対応型デイサービス	スーパーデイようざん栗崎	027-350-9981	027-353-4392
	ショートステイ	ショートステイようざん	027-386-8643	027-386-8644
	居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所ようざん栗崎	027-381-8283	027-386-8644
高崎市貝沢町 1492-1	小規模多機能型居宅介護	ケアサポートセンターようざん貝沢	027-386-5043	027-386-5044
	認知症対応型デイサービス	スーパーデイようざん貝沢	027-386-5143	027-386-5044
高崎市双葉町 22-9	小規模多機能型居宅介護	ケアサポートセンターようざん双葉	027-386-9943	027-386-9843
	認知症対応型デイサービス	スーパーデイようざん双葉	027-386-9743	027-386-9843
高崎市石原町 4516-1	小規模多機能型居宅介護	ケアサポートセンターようざん石原	027-381-6743	027-381-6943
	認知症対応型デイサービス	スーパーデイようざん石原	027-381-6843	027-381-6943
高崎市飯塚町 1030-1	小規模多機能型居宅介護	ケアサポートセンターようざん飯塚	027-381-6812	027-381-6544
	認知症対応型デイサービス	スーパーデイようざん飯塚第2	027-381-6813	027-381-6544
	グループホーム	グループホームようざん飯塚	027-381-6543	027-381-6544
	定期巡回・随時対応型訪問介護	キュアステーションようざん	027-381-6136	027-381-6294
	デイサービス	デイサービス プランドールようざん	027-381-6429	027-381-6294
	サービス付高齢者住宅	ナーシングホームようざん	027-381-6457	027-381-6294
	居宅介護支援事業所	介護相談センターようざん飯塚	027-381-8511	027-381-6294
高崎市飯塚町 1311-6	訪問看護	ナースステーションようざん	027-370-4355	027-370-4358
高崎市倉賀野町 2191-1	グループホーム	グループホームようざん倉賀野	027-329-5743	027-329-5843
	小規模多機能型居宅介護	ケアサポートセンターようざん倉賀野	027-387-0043	027-387-0343
高崎市上中居町 557-2	小規模多機能型居宅介護	ケアサポートセンターようざん中居	027-386-8043	027-386-8143
	認知症対応型デイサービス	スーパーデイようざん中居	027-386-8243	027-386-8143
高崎市上小埜町 1052	小規模多機能型居宅介護	ケアサポートセンターようざん小埜	027-386-4343	027-386-4443
	認知症対応型デイサービス	スーパーデイようざん小埜	027-386-4143	027-386-4443
	配食サービス	配食センターぽから小埜	027-386-4844	027-386-4443
高崎市綿貫町 750-1	デイサービス	デイサービスぽから	027-386-5776	027-381-6043
	訪問介護	訪問介護ぽから	027-386-5775	027-381-6043
	配食サービス	配食センターぽから	027-386-5778	027-381-6043
高崎市八幡町 768-1	特別養護老人ホーム	アンダンテ	027-395-7077	027-395-7078
	ショートステイ	アンダンテ	027-395-7077	027-395-7078
高崎市藤塚町 324-2	小規模多機能型居宅介護	ケアサポートセンターようざん藤塚	027-395-5543	027-395-5544
高崎市八幡原町 1009-30	特別養護老人ホーム	モデラート	027-386-6255	027-386-6245
	ショートステイ	モデラート	027-386-6255	027-386-6245

お問い合わせは、
右記フリーダイヤルまで

ようざんで老後良い
 0120-43-6541